

1. 事業の概要

- (1) 「国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)」は、サンゴ礁、藻場、マングローブなどの保全を目的とした国際協力の枠組で、「日米コモンアジェンダ(平成8年)」を契機として日米豪仏等により開始されたものであり、現在、40ヶ国及び40機関が参加。
- (2) 平成16年6月には、沖縄において「国際サンゴ礁シンポジウム」が開催され、世界のサンゴ礁劣化の危機的状況を踏まえ、ICRIの活動の推進のほか、サンゴ礁の多角的・継続的な調査、モニタリングの推進を強く求める「沖縄宣言」が採択された。
- (3) ICRIの事務局は参加国が持ち回りで担うことになっており、上記の経緯を踏まえ、次期(平成17年7月～19年6月)は我が国とパラオ共和国が共同で事務局を担当することになった。
- (4) このため、事務局国として、総会の定期開催やウェブサイトの管理運営等を担う。また、サンゴ礁を持つアジア・太平洋地域の先進国として、サンゴ礁モニタリングの推進や、国際的に保全すべき重要浅海域のリストの作成等を主導的に行う。

2. 事業計画

- (1) 「国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)」事務局運営(平成17～19年度)
- (2) サンゴ礁モニタリング推進、データベース作成(平成17～19年度)
- (3) 重要浅海域リストの作成(平成17～19年度)

3. 施策の効果

ICRI事務局の運営等により、今後のサンゴ礁保全の方向性を決定するとともに、サンゴ礁保全の重要性について国際的理解を高めることができる。

さらに、ICRI関連で、サンゴ礁モニタリングを推進し、重要浅海域リストを作成すること等により、世界のサンゴ礁を含む浅海域の保全活動が促進されるとともに我が国の国際的評価が高まる。

国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)推進事業

～世界のサンゴ礁保全のリーダーシップ～

危機にある世界のサンゴ礁保全と再生に向けた沖縄宣言

「第10回国際サンゴ礁シンポジウム」において採択

- ・国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)を中心とした国際協力の推進
- ・モニタリングの推進

ICRIの推進

ICRI事務局の実施

平成17年度からパラオ共和国と共同で、ICRIの事務局を担当し、世界のサンゴ礁保全の方向性を決定

- ・総会(年2回)の開催
- ・ウェブサイトの管理
- ・途上国の支援



ICRI関連活動の推進

サンゴ礁モニタリングの推進:

- ・各国のモニタリングデータの収集
- ・データベースの構築

* 国際サンゴ礁モニタリングセンター(沖縄)及びパラオ国際サンゴ礁センターを中心に実施

重要浅海域リストの作成:

- ・ワークショップの開催
- ・重要サンゴ礁リストの作成

